

エンサイ (ヒルガオ科)

サツマイモの葉に似た中国野菜。高温に強いので、夏場の葉ものとして重宝する。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培					保温 播種	定植	収穫						

1) 適地

エンサイは茎が空洞であることから「クウシンサイ」、アサガオのような花を咲かせるので「アサガオナ」とも呼ばれます。中国南部の高温多湿地帯が原産地のため、高温を好み、日当たりがよく、肥沃でやや湿り気が多い土壌が適します。



2) 品種

品種分化が進んでおらず、一般にエンサイまたはクウシンサイとして市販されています。

3) 作り方

【圃場の準備】定植の1か月前までに1m²当たり堆肥2kg、BMようりん20g、苦土石灰100gを施用します。1週間前には高度化成肥料60gを施用し、幅100cm、高さ10cmの畝を立てます。必要に応じてマルチを張っておくと、雑草の繁茂を防止できます。

【播種】種子は1晩流水にさらして吸水させたのち、72穴セルトレイに市販の種播き培土を充填し、1穴2粒ずつ播いて1cmほど覆土します。播種後は十分に灌水します。

【育苗】夜温が15℃を下回る場合は、播種後に温床または育苗機に入れ、20～25℃で管理します。温床の場合は発芽確認後直ちに最低温度を18℃に設定します。育苗機で芽出した場合は、わずかに表面の培土が盛り上がった時点でハウス内の温床等に移して徒長を防止します。本葉が展開したら、1本に間引きます。

【定植】本葉が3枚程度展開したら、条間40cm、株間30cmの2条千鳥となるように定植します。定植後は十分に灌水します。

【追肥・敷きワラ】茎が伸び出したら、2週間おきくらいに高度化成を1m²当たり20g追肥します。乾燥に弱いので敷きワラなどを行い、乾燥時にはたっぷり水をやります。

【収穫】草丈が30cm以上になれば、地際部を10cmほど残して収穫します。芽先を摘むと腋芽が次々と伸びてくるので、芽先20cmくらいを収穫していきます。追肥と水やりを欠かさなければ、10月頃まで収穫できます。

4) 病虫害防除

病気や害虫の被害はほとんどなく作りやすい野菜ですが、ハスモンヨトウやオオタバコガ、ハダニ類が発生することがありますので、発生初期に除しましょう。